

日給制から月給制への移行(A社)

取組概要

<背景>

- 以前は日給制だったが、どうしても天候の影響で仕事量が減るなど、年間を通して給与が安定していなかった。
- 上記に加え、保険料も仕事量の多い4~6月の給与から算定するため、冬季の負担はさらに増えていた。
→給与額に波があり、その影響もあってか退職するものも出てきて就業者の定着が課題だった。

<目的>

- 今後就業する人が定着するために給与体系を見直す。

<取組内容>

各従業員の昨年度平均給与をベースとし、日給制から月給制へ移行。

取組の効果

- 従業員は毎月安定した給与を貰えることにより、給与面の不安が解消された。
- 日給制の時は、多少の天気が悪かったら休む人が多かった（「別に給料出ないんだし会社に迷惑かけていないからいいでしょ？」の意識）が、月給制後は休む人が減った（「安定した給料貰っているし出勤しよう!!!」の意識）。
→当初目的としていた就業者の定着は現時点では順調。さらには従業員の意識の変化や、雇用者と従業員の信頼関係などの良い結果にも結び付いた。
従業員全員を月給にすることで作業員同士の結束力も生まれた。
まだ移行して年は浅いが、会社の売上も増加し順調な状況。

今後の取組

- 従業員の勤務状況や能力について、平等に正しく評価し給与に反映させるため、能力評価制度の導入を検討。